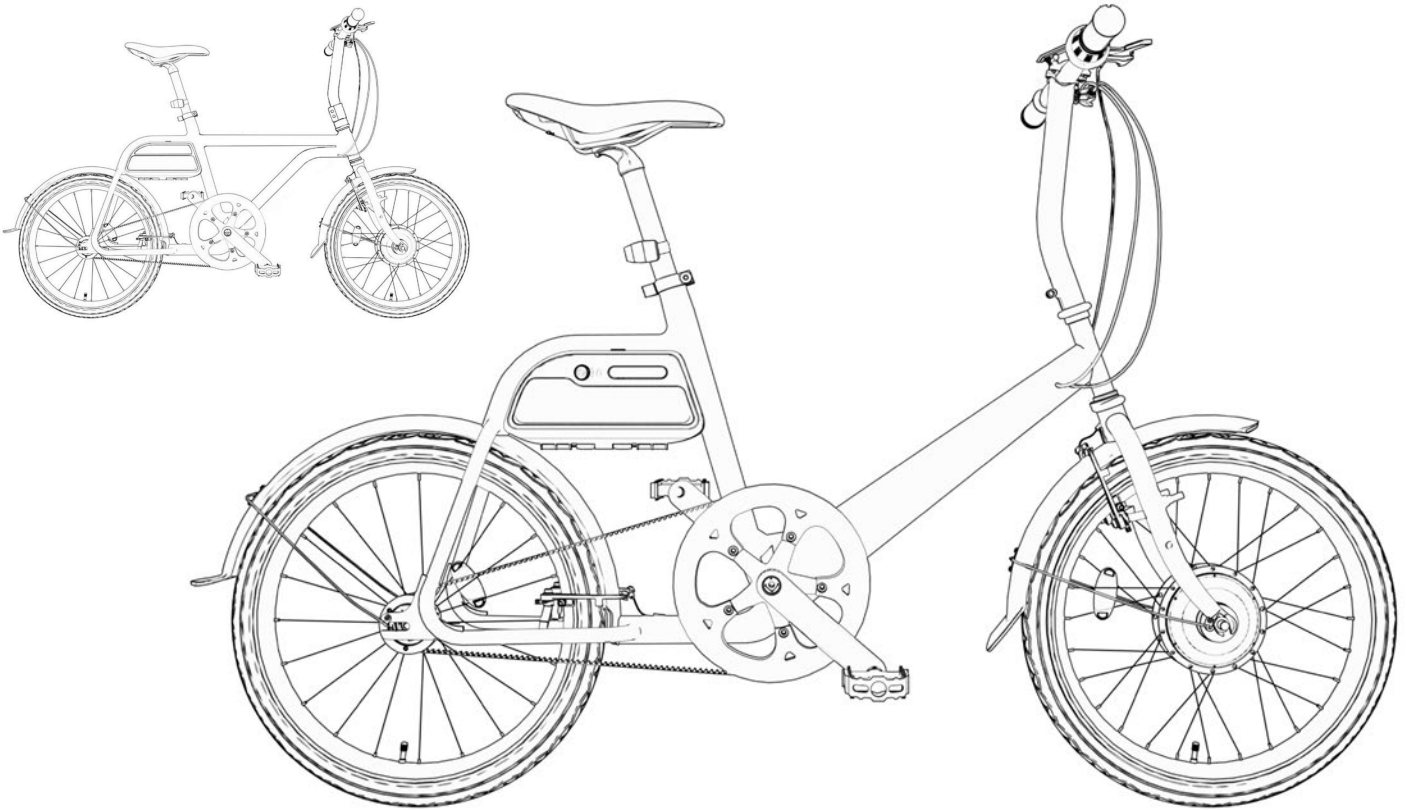


COOZY

品番 WM02-2 / WM04

取扱説明書



この度は、wimo 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。



WIMO

はじめに

はじめに	3
取扱説明書および品質保証書について	3
防犯登録	3
自転車保険	3

電動アシスト自転車の特徴

電動補助システムについて	4
4段階の走行アシストモード	4
リチウムイオンバッテリーを搭載	4

安全上のご注意

警告表示	5
バッテリーの取り扱いについて	5
充電器の取り扱いについて	6
ご使用時の注意事項	6
初回・定期点検は必ずしてください	7
走行中は安全に操作してください	8

この自転車について

付属品	9
各パーツの名称	9

乗り方

走行する	10
駐輪する	10
発進の仕方	11
バッテリーの装着	11
バッテリーの取り外し	11

バッテリーの充電

バッテリーについて	12
充電の仕方	12
充電時間の目安	13
バッテリーの寿命	13
バッテリーの保管	13

各部の取り扱いと操作

ディスプレイ	14
--------	----

乗車前点検

フレーム・フロントフォーク	15
ハンドル	15
ブレーキ	15
サドル	16
ベルトドライブ	16
ペダル・クランク	16
各部のネジ・ナット	16
車輪	17
リフレクター	17
スタンド	17

お手入れ・保管 販売店での定期点検・整備

日常のお手入れ	18
長期保管するとき	18
保管に適した場所	18
初回点検：購入後、2ヵ月以内	18
定期点検：6ヵ月ごと	18
部品の交換について	18
廃棄するときは	18

故障かな？と思ったら

その他

製品仕様	20
点検・整備の記録	21
自転車安全利用五則	22
アフターサービス	23

はじめに

このたびは当社の商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

■ はじめに

- 取扱説明書をお読みいただき、電動アシスト自転車の性能を理解の上ご使用下さい。
- この自転車は、一般乗車用として設計されています。各種業務用としてご使用にならないでください。
- お子様がお使いになる場合は、保護者の方が取扱説明書をよくお読みいただき、正しい乗り方をご指導ください。
- まちがった取り扱いや調整は事故につながる危険があります。「警告」「注意」「禁止」「強制」事項を必ず守ってください。
- 乗る前の「日常点検」と、お店に願う「初回点検・定期点検」を必ず実施してください。
- 自転車を踏み台とするなど乗用以外の目的に使用しないで下さい。
- 安全にご使用いただくために、ヘルメットをかぶりましょう。
- 取り扱い方法がわからないときは、保証書に記載の販売店にご相談ください。
- この「取扱説明書」にある自転車の図はイメージ図です。実際の商品と異なる部分があります。

■ 取扱説明書および品質保証書について

- 保証書には、商品のお買い上げ日や販売店名などの情報が記載されています。大切に保管して下さい。
※オンラインでのお買い上げは、保証書に記載のない場合があります。
- 本商品を他の人にお譲りになる場合は、この「取扱説明書」と保証書も一緒にお渡し下さい。
- 保証書と、この「取扱説明書」は大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

■ 防犯登録

- 自転車の防犯登録は法律で義務付けられています。自転車を購入した店舗や最寄りの指定登録所で必ず防犯登録を行って下さい（有料）。

■ 自転車保険

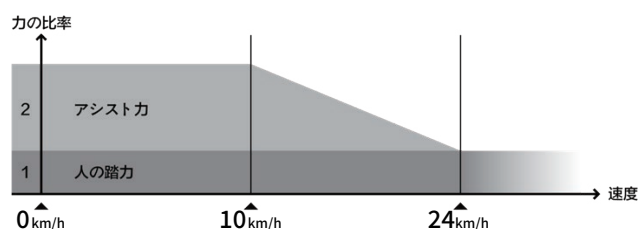
- 予期せぬ事故が起きた時のために、「自転車保険」などの対人対物賠償保険に加入することをお勧めします。またお住まいの地域によっては、保険加入が義務付けられている場合があります。販売店にてご確認ください。

電動アシスト自転車の特徴

■ 電動補助システムについて

- ペダルを踏む力や走行速度などに応じてアシスト力が働き、普通自転車よりも軽い力で走行できます。
- 発進から時速10kmに達するまでは、ペダルを踏む力「1」に対して最大「2」の力でアシストします。アシストは時速10kmを超えると徐々に弱くなり、時速24km以上になるとゼロになります。

ペダルを踏む力とアシスト力のイメージ



こんな時は電動補助システムが作動しません。

- 電源が入っていないとき
- 時速24km以上の速度で走っているとき
- ペダルをこいでいないとき
- アシストモードが「0 (アシストなし)」になっているとき
- バッテリー残量がなくなったとき
- 部品が故障、または異常が発生したとき

■ 4段階の走行アシストモード

路面状況や走行状況にあわせて、「0 (アシストなし)、1、2、MAX」の4段階から走行アシストモードを選ぶことができます。

0	アシストはありません。 普通自転車の感覚で走行できます。
1	バッテリーの消費を抑えて、 より長い距離を走行できます。
2	標準的なアシスト力で、緩やかな 登り坂も快適に走行できます。
MAX	常に力強いアシスト力で、 急な登り坂も楽に走行できます。

■ リチウムイオンバッテリーを搭載

この自転車には、小型・軽量で安全性に優れた電圧36V、容量7.0Ahのリチウムイオンバッテリーを搭載しています。

安全上のご注意

■ 警告表示

この取扱説明書では、「警告」、「注意」、「禁止」、「強制」として危険性の程度に応じて記載されています。事故なく安全・快適にお乗りいただくために、以下の警告事項をお守りください。



【警告】

この表示は、取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



【注意】

この表示は、取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。



【禁止】

この表示は、「安全上してはいけない危険行為および保証範囲外の行為を表す」内容です。



【強制】

この表示は、「使用者に必ず実行していただく」内容です。



【警告】 バッテリーの取り扱いについて

安全にお乗りいただくため、バッテリー・充電器は正しい方法でお取り扱いください。間違った方法で使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因になります。



この商品専用の充電式バッテリーです。ほかの機種に使用しないでください。バッテリーの液漏れ、発熱、発火、破裂の原因になります。



水中に投下したり、水を入れたりしないでください。端子部に水が入ると発熱、発火、破裂の原因になります。



専用の充電器以外は使用しないでください。



バッテリーボックス内部に水が浸入した場合は、バッテリーを入れしないでください。感電・故障・火災の原因になります。



衝撃を与えたり、分解、改造をしないでください。落下させないでください。



電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。感電や発熱による火災の原因になります。



火中に投入、加熱しないでください。火のそばなど高温の場所で、充電・放置しないでください。



電源プラグに付着したほこりはふき取ってください。火災、感電の原因になります。



ケースが破損したまま使用しないでください。バッテリーの液漏れ、発熱、発火、破裂の原因になります。



確実にバッテリーボックスに装着しているか確認してください。



大雨や台風でバッテリーが水につかった場合、使用しないでください。発熱、発火、破裂の原因。またアンスト機能が急に停止してバランスを崩し転倒によるけがの恐れがあります。



【警告】 充電器の取り扱いについて

安全にお乗りいただくため、バッテリー・充電器は正しい方法でお取り扱いください。
間違った方法で使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因になります。



衝撃を与えたり、分解、改造はしないでください。



端子に金属で触れてショートさせないでください。



水の中に入れたり、火中に投入したりしないでください。



断線したり、傷んでいる電源コードを使用しないでください。



充電中は上に燃えやすいものを置いたり、カバーをかけたりしないでください。



小さなお子様やペットが触れる場所に放置しないでください。



コンセントや延長ケーブルなどの定格を超える使い方はしないでください。



家庭用の交流100V以外では使用しないでください。



浴室や洗面所など高温の場所、雨のかかる屋外で使用しないでください。



濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。



当社電動アシスト自転車バッテリーの充電以外の目的で使用しないでください。



電源プラグに付着したほこりはふき取ってください。



充電中に異音、異臭、煙などの異常が発生したら、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。



【警告】 ご使用時の注意事項

wimo電動アシスト自転車を正しく安全にお使いいただくために重要な内容を記載しています。
お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。



チャイルドシート禁止

本商品は、一人乗り用に設計されています。チャイルドシートを取り付けることはできません。
※転倒による事故、けがの恐れがあります。



荷物の積載

本商品は純正オプションの専用フロントバスケットを使用する場合のみ荷物の積載ができます。
※最大積載量5kg



適用体重

適用体重：75 kg (JIS基準65kg)



サドルについて

乗る前に必ずサドルのがたつきやずれがないか、しっかり固定されているか確認してください。



分解と改造禁止

自ら自転車の部品交換を行わないでください。部品に破損が生じるなどして交換が必要な場合は、販売店までお問い合わせ下さい。
自転車の解体・改造を禁じます。解体・改造した場合は、保証の対象外となります。
モーター、制御装置、バッテリーを他の用途で使用することを禁じます。またバッテリーを改造・分解することを禁じます。



駐輪時はペダルを踏み込まない

駐輪するときはペダルを踏みこまないでください。電源が入っている状態でペダルを踏み込むとアシスト機能が作動し、大変危険です。



電源ボタンを押すときはペダルやブレーキを操作しない

電源ボタンは、ペダルを踏みこまず、ブレーキを握らない状態で押してください。



【警告】 初回・定期点検は必ずしてください

安全にお乗りいただくため、お買い求めから2カ月目の初期点検、半年ごとを目安に定期点検・整備をお受けください。異常や故障の発見が遅れ、事故発生によるけがの恐れがあります。



ブレーキワイヤー、ブレーキブロック、タイヤ、ベルトなどは消耗品です。外観上異常がなくても定期的に交換してください。



初回点検・定期点検は必ず実施してください
長く使っているとネジがゆるんだり調整がズレたりしてきます。必ず実施してください。

乗る前に必ず点検をお願いします。走行中にこわれて事故・けがをおこすおそれがあり大変危険です。異常を発見したら使用せずに、すぐに購入した店舗へご相談ください。
点検方法はP15~P17をご覧ください。



日常点検は乗る前に必ず実施してください。
異常や故障の発見が遅れ事故発生によるけがの恐れがあります。必ず実施してください。



リムに著しい摩耗があるときは使用しないでください。
リムが破損し、転倒によるけがの恐れがあります。



フレーム、タイヤ、泥除け、クランク、ペダルなど自転車本体の各部に、変形、ひび割れ、がたつきなどの異常があるときは使用しないでください。

折れや破損、固定の緩みにより転倒・衝突によるけがの恐れがあります。
絶対曲げ戻して修理をしないでください。



リフレクター(反射機)が破損していたり、汚れたままで走行しないでください。
部品の落下によるけがの恐れ、歩行者などに危害を及ぼす恐れがあります。



タイヤ、サドル、ハンドルなど各部の締め付け、固定を必ず確認してから使用してください。

折れや固定の緩みにより転倒・衝突によるけがの恐れがあります。



パンクや故障など異常があるときは乗らないでください。
事故・けがの恐れがあります。
異常を発見したら使用せずに、すぐお店にご相談ください。



前後のブレーキが動作することを確認してから使用してください。

ブレーキが利かなくなり転倒・衝突によるけがの恐れがあります。



タイヤの空気圧は十分か確認してください。
パンクしやすく、タイヤの摩耗が早くなります。



ブレーキやリムに注油しないでください。
ブレーキが利かなくなり転倒・衝突によるけがの恐れがあります。



ネジがゆるんでいるところはないか確認してください。
ゆるんでいるところがこわれて事故・けがの恐れがあります。



【注意】走行中は安全に操作してください

乗る前に必ず点検をお願いします。走行中にこわれて事故・けがをおこす恐れがあり危険です。異常を発見したら使用せずに、すぐにお店にご相談ください。



階段や縁石の乗り降り、片足乗り、アクロバット走行など乱暴な乗り方はしないでください。

こわれて事故・けがの恐れがあります。片足乗りとは、片足をペダルにかけて、もう一方の足で助走をつける乗り方を指します。必ずサドルに座ってから走行を開始してください。



2人乗りはしないでください。

操縦が不安定で転倒したり、こわれて事故・けがの恐れがあります。



片手運転、手ばなし運転をしないでください。

スマホや携帯電話などで通話しながらの走行、傘をさしながらの走行はしないでください。危ないときによけたり止まることができず、事故・けがの恐れがあります。必ず両手がハンドルをにぎってください。



イヤホン・ヘッドホンを付けた状態での走行はしないでください。

安全な運転に必要な交通に関する音または声が聞こえないような状態で運転しないでください。



ハンドルに物をさげたり犬をひいて乗らないでください。

車輪に物が巻き込まれたり、バランスをくずして転倒し、事故・けがの恐れがあります。



曲がるときは

- 急にハンドルを切らないでください。
- 曲がるときはスピードを落としてください。



衝突や転倒したときは

- 必ず点検をしてください。
- 異常を発見したら使用せずにお店に相談してください。



回転部分には

- 手や足は入れない。子供がそばにいるときは、特に注意してください。(はさまって大ケガをします)
- スポークの間に物を入れたりはさんだりしないでください。(車輪にはさまって転倒してしまいます)



夜間や暗いところでは乗らないでください。

事故・けがの恐れがあります。必ず降りて押してください。



改造・分解・突出物（ハブステップ等）の装着はしないでください。



踏み台など走行目的以外につかわないでください。

正しく動かずに事故を起こしたり歩行者に危害をおよぼす恐れがあります。



風・雨・雪がひどいときや視界が悪いときはムリにのらないでください。



引っかけやすい服装やすべりやすい靴かかとの高い靴などをはいて乗らないでください。

スカートやマフラーなどが車輪やペルトに巻きまかれると、転倒したり、深刻なけがを負ったりする恐れがあります。ズボンのすそはセイフティバンドやクリップなどでとめて乗ってください。



視界が悪いときは前照灯を点灯してください。

夜間やトンネルなど、暗くて視界が悪いときは、前照灯を必ず点灯させて走行してください。夜間に点滅状態や無灯火で走行することは法律上禁じられています。



走行するときは

- タイヤに十分空気を入れてから乗ってください。空気圧が低いとはやくタイヤが減り、パンクもしやすくペダリングが重くなります。



ブレーキをかけるときは

- いつでもブレーキレバーを握れるようにして乗ってください。
- ブレーキは前後ともブレーキをかけてください。(片方だけかけるとスリップして危険です)
- 急ブレーキを避けるために、いつも前方に注意してスピードをひかえめにしてください。
- 雨天時はブレーキがききにくくなるので、ゆっくり走行してください。

この自転車について

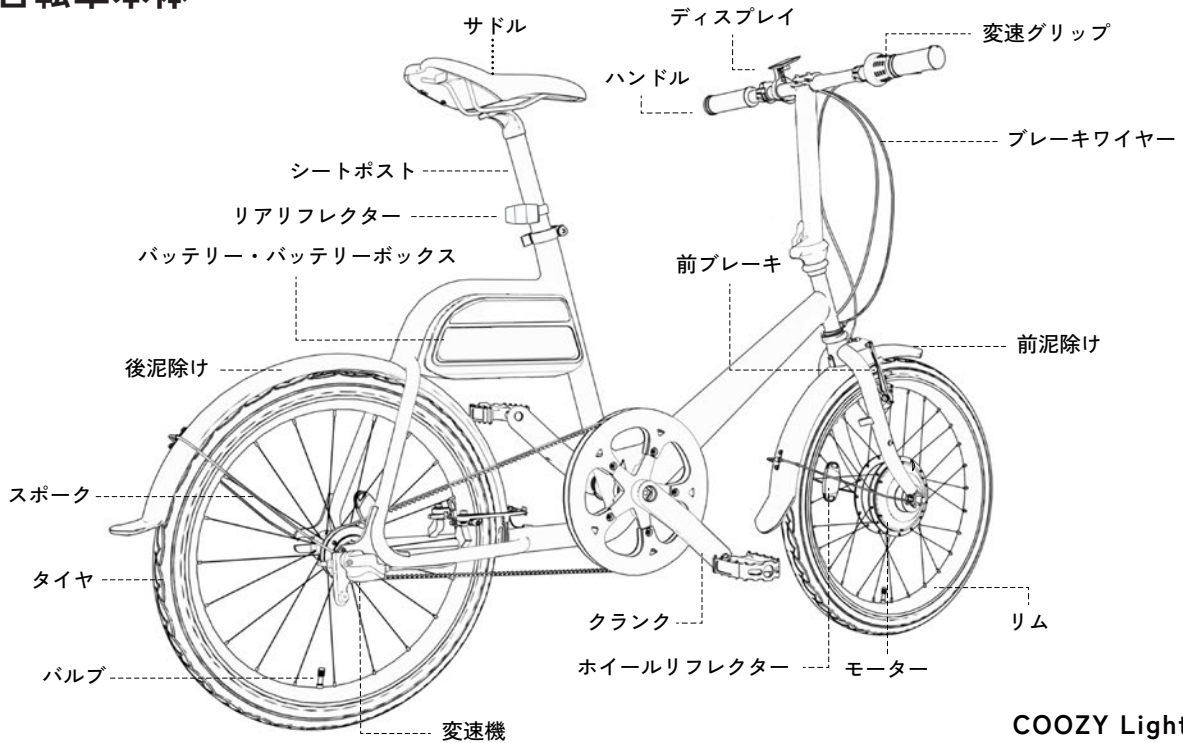
■ 付属品

自転車本体のほかに、下記のもの全てが含まれていることをご確認下さい。

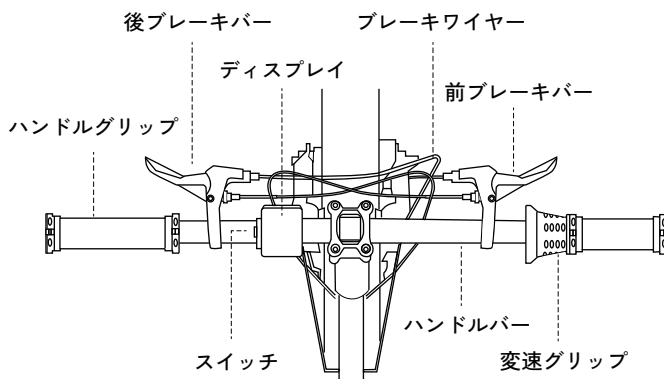
- 製品取扱説明書(本書) × 1冊 ● 保証書 × 1冊 ● 充電器 × 1個 ● 組み上げツール × 1式
- キー × 3個 ※キーは紛失しないように大切に保管し、キー番号は控えておいてください。

■ 各パーツの名称

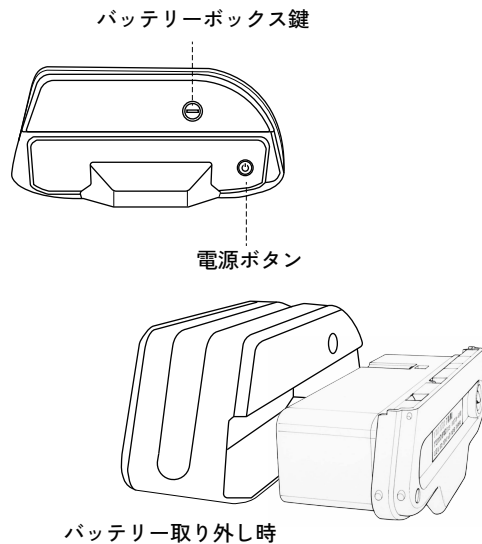
● 自転車本体



● ハンドル部



● バッテリーボックス・バッテリー



乗り方

■ 走行する

道路の状況に応じてアシストモードを切り替えることで、快適に走行できます。

0	アシスト機能を作動しないモード	通常の自転車のよう走行したいときに使います。
1	バッテリーの消費を抑えるモード	アシスト機能を使って、より長い距離を走行したいときに使います。
2	標準的なアシストをするモード	走行状況に応じて自動的にアシスト力をコントロールします。 平坦な道や緩やかな坂道で使います。
MAX	常に力強いアシストをするモード	急な上り坂など、力強いアシスト力が必要な時に使います。



踏み始めや、坂を登り切った直後のアシストにご注意下さい。
信号などでの停車中はブレーキをかけた状態でペダルの上に足を乗せないで下さい。



車輪に異物が挟まり動かなくなった時は、自転車の電源を切ってから車輪に挟まった異物を取り除いて下さい。それでも問題が解消されない場合は、販売店にご連絡下さい。



雨の日や下り坂ではスピードの出し過ぎにご注意下さい。道路が滑りやすく、制動距離が長くなるため、衝突事故や転倒によるけがの恐れがあります。

■ 駐輪する

- ① 自転車が完全に停止したら、ブレーキレバーを握ったままサドルから降りてください。
- ② 左手でハンドルを持ったまま、右手でサドルを引っ張り、スタンドを立てます。
- ③ ディスプレイ上部の電源ボタンを長押しして、ディスプレイ電源を切ります。
- ④ バッテリーの電源ボタンをOFFにして主電源を切ります。
- ⑤ 自転車に施錠をしてください。



サドルから降りる際は、ペダルを踏み込まないでください。電源が入っている状態でペダルを踏み込むとアシスト機能が作動し、たいへん危険です。



駐輪場など、決められた位置に駐輪してください。



駐輪するときに電源を切り忘れると、バッテリーの放電を早めることになります。次の乗車時にバッテリー残量が不足して、アシスト機能が使えないことがあります。

■ 発進の仕方

- ① バッテリーの電源ボタンをONにして、主電源を入れます。
- ② ペダルに足をかけず、ブレーキを握らない状態でディスプレイ上部にある電源ボタンを長押しして、ディスプレイの電源を入れます。
- ③ 次にアシストモードを設定します。ディスプレイ下部の操作ボタン上部を押すとアシスト力が強くなり、操作ボタン下部を押すとアシスト力が弱くなります。
- ④ スタンドをはね上げます。
- ⑤ ハンドルとブレーキをしっかりと握った状態でサドルに座り、前後左右の安全確認をした後、ブレーキを放し、ペダルを踏んで走行を始めて下さい。電動アシストモードが起動します。



走行している途中で電源が切れたときは、いったん停車し、ペダルに足をかけず、ブレーキを握らない状態で電源ボタンを入れなおしてください。



大雨や台風で自転車本体やバッテリーが水につかったら、使用しないでください。



急な坂道や傾斜面での急発進は後方転倒の恐れがありますので行わないでください。

ディスプレイの下部の操作ボタン上部を長押しすると、前照灯を点灯・消灯ができます。
電源をつけた状態で5分以上停止すると、ディスプレイは自動で暗くなり、スリープ状態に入ります。
スリープ状態へ移行する時間の調整はできます。(P14「AUTO SLEEP」をご参考ください)
ディスプレイの電源ボタンを長押しすると再起動できます。

■ バッテリーの装着

- ① バッテリーの電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
- ② バッテリーボックスにバッテリーを差し込み、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

■ バッテリーの取り外し

バッテリーボックスにある鍵穴に馬蹄錠の鍵を差し込み、ひねった状態でバッテリー下部にある持ち手部分をつかみ、バッテリーを引き抜いてください。
バッテリーボックスから完全に出す時は、落下防止のため必ず両手で操作してください。

バッテリーの充電

■ バッテリーについて

本製品はリチウムイオンバッテリーを装備しています。
リチウムイオンバッテリーは小型軽量で安全性に優れており、次のような特性があります。

- バッテリー残量にかかわらず充電できる。
- 使用していなくても少しずつ放電する。
- 過度に暑い環境や寒い環境では性能が低下し、走行距離が短くなる。

バッテリー残量がなくなっても、普通の自転車として走行することができます。

■ 充電の仕方

- ① ディスプレイ上部の電源ボタンを長押しして、ディスプレイ電源を切ります。
- ② バッテリーの電源スイッチをOFFにすると電源が切れます。
- ③ バッテリーの鍵を回しながらバッテリーを引き出します。
- ④ バッテリーを専用充電器にセットします。
- ⑤ 充電器の電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ⑥ 充電が始まると充電器のLEDランプが赤く点灯します。
- ⑦ 充電が完了したら、充電器のLEDランプが緑色の点灯に変わります。
- ⑧ バッテリーを充電器から外し、バッテリーをバッテリーボックスに装着します。
- ⑨ バッテリーを固定するにはバッテリーをバッテリーボックスに差し込み、「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。
※新品の際に、バッテリーボックスが固く、締めにくい場合があります。
- ⑩ ディスプレイでバッテリーの残量を確認します。
※充電器のLEDランプが緑色の点灯に変更されても、ディスプレイに「FULL」と表示されない場合があります。



充電する時は、コンセントに電源プラグをしっかりと差し込んで下さい。きちんと差し込まれていない場合、充電器の発熱、発火、感電によるけがの恐れや、火災の原因となります。充電中に充電器が熱くなる場合がありますが、異常ではありません。



充電が完了したら、必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いて下さい。そのままにしておくと、バッテリーの寿命が短くなる原因となります。



初めて乗る場合、又は1ヶ月以上乗っていない場合は、必ず充電してください。
(出荷時に輸送するため満充電していません)

■ 充電時間の目安

満充電までの時間は約4.5時間です。およそ65km走行できます（アシスト「2」モード時）。

- 充電時間は、バッテリーの温度によって異なります。
- バッテリーが高温になっている時は、バッテリーの温度が下がってから充電を始めるため、充電にかかる時間が延びることがあります。
- バッテリーを保護するため、満充電からの再充電はできません。

■ バッテリーの寿命

バッテリーの容量は充放電を約800回行うと、新品のおよそ60%まで低下する可能性があります。

- バッテリーの容量が低下すると、一度の充電による走行距離が短くなったり、アシスト力が弱いと感じることがあります。
- バッテリー寿命を延ばすため、バッテリー残量20%を目安に充電してください。
- バッテリー残量0%の状態は「過放電状態」とも呼ばれ、バッテリー容量の低下をはじめとする劣化現象を招きますので、ご注意ください。
- 走行距離が著しく短くなったら交換時期です。バッテリーの交換は販売店もしくは弊社にお問い合わせください。なお、この場合の交換は有料となります。

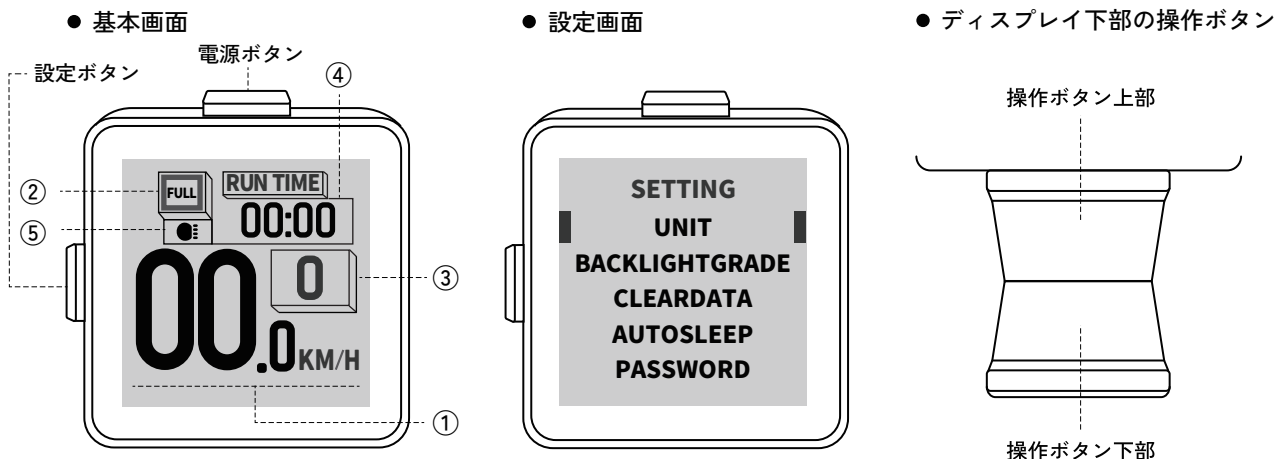
■ バッテリーの保管

バッテリーは自転車から取り外し、満充電の状態でご保管してください。

- バッテリーは15℃～25℃の場所に保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐために、1ヵ月に1度は充電してください。
- 長期間保管していたバッテリーを再度使用するときは、バッテリーの残量を確認の上、残量不足の場合は充電してください。

各部の取り扱いと操作

■ ディスプレイ



	機能	説明
基本画面	① スピードメーター	現在の走行速度を表示します。
	② バッテリー残量	バッテリーの残量を表示します。 ※バッテリーの寿命を最大限に延ばすために、バッテリーの残量が20以下になったら充電してください。
	③ アシストモード	現在のアシストモードを表示します。
	④ 走行情報	設定ボタンを押すと、RUN TIME(走行時間)、AVERAGE(平均時速)、MAXIMUM(最高時速)、TRIP(区間走行距離)、*RANGE(アシスト走行距離)、TOTAL(総走行距離)を切り替えて表示できます。 ※*RANGE「アシスト走行距離」の表示機能は、選択されるモードで走行可能な距離を示す目安となります。この情報はベター版で提供され、表示されるまでに時間がかかる場合があります。
	⑤ 前照灯点灯	前照灯が点灯中はマークが表示されます。
設定画面	電源ボタンを入れて3秒後、設定ボタンを長押しすると設定画面に入ります。設定画面では、操作ボタンの上部・下部を短押しすることで、設定項目を切り替えることができます。設定したい設定項目に入るには、設定ボタンを押します。設定項目から退出するには、EXITを選択し、設定ボタンを押します。	
	UNIT	速度表示は、「KM/H」と「MPH」を変更できます。
	BACK LIGHT GRADE	バックライトの明るさは3段階で調整できます。
	CLEAR DATA	走行時間、区間走行距離、平均時速、最大時速を削除できます。
	AUTO SLEEP	最短5分-30分の間で自動スリープへ移行する時間を変更できます。OFFを選択すると、自動スリープ機能は無効になります。
	DISPLAY INFO	ディスプレイのバージョン情報を表示します。設定ボタンを長押しすると、退出できます。
	BATTERY INFO	バッテリー情報を表示します。設定ボタンを長押しすると、退出できます。
	CONTROLLER INFO	コントローラのバージョン情報を表示します。設定ボタンを長押しすると、退出できます。
EXIT	前の画面に戻る	

乗車前点検

■ 乗る前の点検

安全のため、乗車前点検を必ず行ってください。変形や破損している部分は必ず新品と交換してください。初めて乗車前に、バッテリーを充電してください。



異常が見つかった場合は、すぐに販売店で点検・整備をお受けください。そのまま使用すると、転倒や衝突によるけがの恐れがあります。わからないときや調整が難しいと感じたときは、販売店にご相談ください。

■ フレーム・フロントフォーク

- ひび割れや変形、亀裂、ふくれなどがないか
- サドルの上面と地面が平行になっているか

■ ハンドル

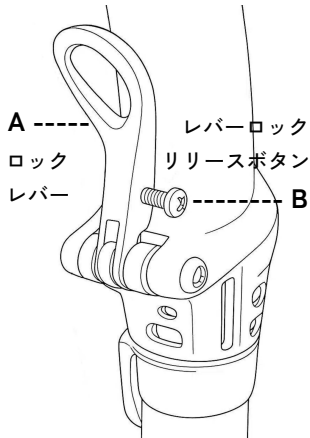
- 前輪を足で固定して左右にハンドルを動かしても、回らないか
- ハンドルグリップが回ったり抜けたりしないか
- 前輪に対して直角になっているか

折り畳みハンドルポストの取り扱い方法

使用時：ハンドルポストを「カチッ」と音がするまでしっかりと起こした後、Aのロックレバーを「カチッ」と音がするまで引き上げてください。

その後レバーが確実に固定されていることを確認してください。

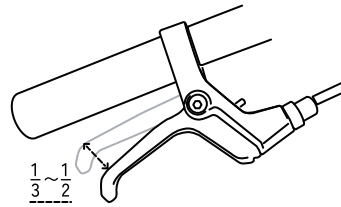
収納時：Bのリリースボタンを押しながらAのロックレバーを下ろし、ゆっくりとハンドルポストを折りたたんでください。



折りたたむ際は必ずハンドルポスト、もしくはハンドルを握りながら折り畳みを行ってください。意図せず急に畳まれ折り畳みで挟んだり、ハンドル等でけがをする可能性があります。

■ ブレーキ

ブレーキレバー



- レバーとグリップの間隙が1/3～1/2になるまでにブレーキがよくきくか
- レバーの作動は重くないか
- レバーが遠く感じたり握りづらくないか
- 取付け部を指で押して、ゆるみやがたつきはないか

ブレーキワイヤー

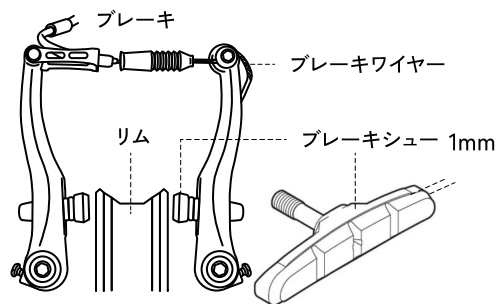
- サビ・切れ・ほつれなど傷んでいないか



ブレーキワイヤーは、異常がなくても2年に1回は交換してください。

ブレーキシュー

- 溝の残りが1mm以上あるか



ブレーキシューは、溝の残りが1mmになる前に販売店にて交換してください。



ブレーキシューは純正品をお使いください。仕様が異なるブレーキシューに交換すると、ブレーキが利かなくなったり、スリップして転倒する恐れがあります。

■ サドル

- サドルの上面と地面が平行になっているか
- 上下・左右に強い力を加えたとき、がたつきやずれがないか

■ ベルトドライブ

- ひび割れや緩みはないか
- 滑らかに動くか



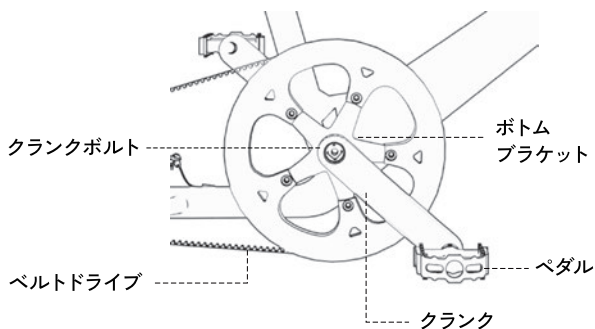
ベルトドライブは消耗品です。販売店にて交換してください。

走行中のベルトドライブの歯飛び

強い力でベルトドライブが引っ張られることにより、歯飛び（ジャンピング）現象が起こることがあります。これはベルトドライブを過負荷から守るため、急にペダルを踏み込んだり、急な坂道を走行中に稀に起こることがあります。平坦な道を走行している時にも歯飛び現象が起きたり、頻繁に続く場合は、販売店へお問い合わせください。

■ ペダル・クランク

- ひび割れや緩みはないか
- クランクボルトはしっかり固定しているか



■ 各部のネジ・ナット

- 自転車を10cmほど持ち上げて軽く落としたとき、変な音がしないか（変な音がしたらネジがゆるんでいます）
- 自転車にまたがり、左右のブレーキレバーをにぎり、車体を前後にゆすったとき、がたつきや、ゆるみはないか

ナットのトルク値について

ナットの締め付け、緩める作業は、六角レンチまたはアーレンキーで行います。最後にトルクレンチで適切な値で締めるか、締めたナットのトルク値をトルクレンチで確認してください。

各部位のナットのトルク値は以下の通りです。

ナットの部位	トルク値(N.m) COOZY / COOZY Light
ブレーキレバー	6.0-8.0
ハンドルポスト	5.0-6.0 / 12.0
シートポスト	10.0
前後ハブナット	35.0
前後ブレーキ	6.0-8.0
ペダル	35.0-55.0
ボトムブラケット(左)	30.0
ボトムブラケット(右)	35.0
スタンド	6.0-8.0
ディスプレイ	0.8

ナットの締め付け不足または、締めすぎはネジの緩みや破損を引き起こす恐れがありますので、ご注意ください。

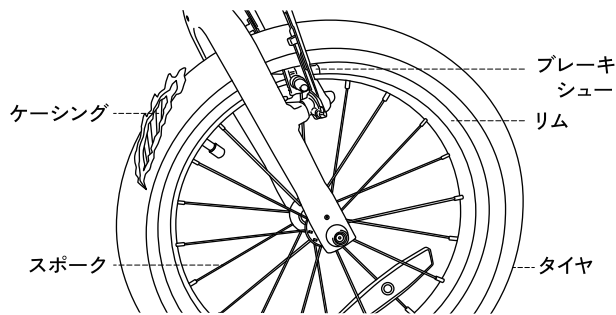
ナットの締め付けを繰り返すことにより、ネジなどが破損してしまう恐れがありますので、ご注意ください。

前輪取り付けナットは改造防止のため専用工具が必要です。取り外しが必要な場合、販売店にお問い合わせ下さい。

■ 車輪

タイヤ・チューブ

- 十分空気が入っていて、タイヤに表示してある空気圧になっているか
- 接地面の模様が十分残っているか
- ケーシングが見える深いキズがないか



タイヤは、接地面（トレッド）の溝がなくなる前に販売店にて交換してください。



チューブは消耗品です。販売店にて交換してください。



タイヤをストーブなどの熱源の近くに置かないでください。

リム

- ブレーキシューの当たる面の中央にある溝または穴（摩耗インジケータ）が消えていないか
- 変形していないか



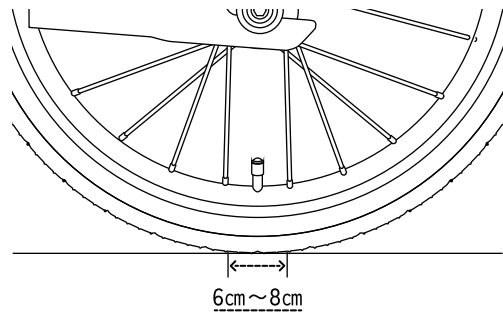
リムは消耗品です。販売店にて交換してください。

スポーク

- 曲がり、切れ、緩みはないか

タイヤの空気圧について

バルブの仕様は「米式」「英式」「仏式」があります。ポンプの口金形式はメーカーによって異なりますのでご注意ください。



タイヤの空気圧は、自転車に乗った状態で接地面の長さが約6cm～8cm程度が適正です。

適正な空気圧は240kPa～310kPa(35P.S.I～45P.S.I)です。圧力計のついたポンプで空気を入れる場合は、240 kPaの数値内になるように入れてください。

空気圧が240kpa(35P.S.I)以下の状態で使用しないで下さい。タイヤのひび割れ、偏摩耗やパンクの原因になります。

ストーブなどの熱源の近くに置かないでください。

自転車を長期間使用しない場合、タイヤの空気圧は自然に減少します。

■ リフレクター

- フロントリフレクター、リアリフレクター、ホイールリフレクターに割れやがたつき、汚れはないか

■ スタンド

- 作動、解除をスムーズに行えて、がたつきはないか

お手入れ・保管 販売店での定期点検・整備

■ 日常のお手入れ

- 乾いた布やブラシで泥や土、ほこりを落としてください。頑固な汚れには、台所用洗剤（中性）を薄めてご使用ください。
- バッテリーボックス・バッテリーは、水に濡らして固く絞った布で拭き取ってください。
- 湿気の多い場所や海岸沿いでは錆びやすくなりますのでお手入れの回数を多くしてください。
- オイルレスベアリングを採用していますので、ブレーキワイヤー、ブレーキレバー、スタンドの支点もしくは可動部以外の部品には注油しないでください。
- この自転車はベルトドライブを採用しているため、基本的には注油の必要はありません。洗剤は使わず、汚れを洗い流して、よく乾かしてください。ベルトの張り具合は、ベルトを自然に垂らしたときとピンと張ったときの長さの差が5～10mmになるのが適当です。



シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。塗装が剥がれたり、樹脂製部品が傷むことがあります。



この自転車は生活防水性を備えていますが、駆動ユニットやバッテリーボックス、バッテリーを直接水で洗わないで下さい。駆動ユニットやバッテリーボックス、バッテリー内部に水が入ると、故障の原因となります。



万が一、駆動ユニットやバッテリーボックス、バッテリーなどが浸水した場合は、直ちに使用をやめ、販売店にご相談下さい。



雨天走行後は、前リム側面のブレーキブロック接触面の砂や泥を拭き取ってください。

■ 長期保管するとき

- タイヤの傷みを防ぐため、適正空気圧まで空気を入れてください。
- サイクルカバーをかけるなどして、ほこりの付着や水濡れを防いでください。
- いたずらや盗難を予防するため、自転車を施錠しバッテリーは取り外してください。

■ 保管に適した場所

地面が平らで、風通しがよく、雨つゆや直射日光があたりにくい場所で保管してください。

■ 初回点検：購入後、2ヶ月以内

お買い求めから2カ月ほどのご使用で、ワイヤーやボルトなどに緩みが出る場合があります。必ずお買い求めの販売店または販売代理店で、自転車安全整備士、自転車技士（自転車組立整備士）、もしくはそれと同等の技術を有する者により点検・整備をお受けください。

■ 定期点検：6ヶ月ごと

いつでも安全にお乗りいただくため、お買い求めから6カ月目以降は、半年ごとに必ず定期点検・整備を実施してください。

■ 部品の交換について

- ブレーキワイヤー、変速ワイヤーは、異常がなくても2年に1回は交換してください。
- タイヤは、接地面（トレッド）の溝が無くなる前に交換してください。

自転車の点検や修理、その他ご不明点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



タイヤ、チューブ、ブレーキシュー、ベルトドライブは消耗品です。販売店にてお買い求めください。



ブレーキシューは純正品をお使いください。仕様が異なるブレーキシューに交換すると、ブレーキがきかなくなったり、スリップして転倒する恐れがあります。



前輪はモーターが付いているため、改造防止策が施されており特殊な工具が必要です。タイヤを交換する際は、販売店にお問い合わせください。



この自転車を改造しないでください。電動アシスト自転車の各部品は強度テストを経て作られています。強度が基準に満たない部品や仕様が異なる部品を使うと事故や故障の原因となる恐れがあります。

■ 廃棄するときは

- 廃棄は、お住まいの地域の回収ルールに従ってください。ご不明の場合は、販売店にご相談ください。
- リチウムイオンバッテリーは、資源有効利用促進法によりリサイクルが義務付けられています。使用済みのバッテリーは販売店にお持ちいただくか、リサイクル協力店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

■ 走行中に突然電源が切れたり、アシスト力が失われる

走行中の揺れでバッテリーの取り付け部分が緩んだ恐れがあります。
いったん停車して電源スイッチを入れ直すか、バッテリーを再度装着し直して下さい。
それでも解決されない場合は、販売店へお問い合わせ下さい。

■ 走行中にベルトドライブの歯飛び（ジャンピング）が起きる

強い力でベルトドライブが引っ張られることにより、歯飛び現象が起こることがあります。
これはベルトドライブを過負荷から守るため、急にペダルを踏み込んだり、急な坂道を走行中に稀に起こることがあります。平坦な道を走行している時にも歯飛び現象が起きたり、頻繁に続く場合は、販売店へお問い合わせ下さい。

■ スイッチを操作してもディスプレイに反応はない

バッテリーの主電源を入れたかどうかご確認ください。必ず主電源を入れてから、ディスプレイで電源を入れてください。E30が出た場合は通信エラーを示しています。

電源を切り、バッテリーボックスからバッテリーを取り出し、再度挿入してから電源を入れてください。
またディスプレイの配線に緩みや損傷がないかご確認ください、ディスプレイの配線の再接続をお試しください。

■ 空気をうまく入れられない

米式バルブ適用の空気入れを使っているかご確認ください。

■ エラーコードが出たが、意味は分からない

エラー7：コントローラー過電圧、エラー08：ホール信号異常、エラー12：コントローラー過電流、エラー21：速度信号異常、エラー25：トルクセンサー信号異常、エラー30：通信エラー

その他

■ 製品仕様

COOZY WM02-2 / COOZY Light WM04		
寸法	車体	1550mm × 550mm / 1530mm × 580mm
	車体重量	17kg / 17.5kg (バッテリーを含む)
	ホイールベース	1,020mm
	タイヤ	20インチ
フレーム		アルミ合金
フロントフォーク		クロムモリブデン鋼
駆動方式		ベルト式
制動装置		V ブレーキ (前後)
変速機		内装三段変速
電動機	種類	永久磁石同期モーター
	定格電力	36V
	定格出力	250W
補助速度範囲		24km/h未満
充電 1 回の走行距離		約65km (2モード時) ※走行条件：環境温度は20±5℃、無風の状態、バッテリーは新品、バッテリーライトは消灯状態、車載重量(乗員と荷物の合計)は65kg、路面は乾燥した平滑な路面、タイヤ空気圧は標準空気圧。
バッテリー	重量	約 1.3kg
	容量	7.0Ah
	電圧	36V
充電器	電源	AC100V (50Hz-60Hz)
	充電時間	約 4.5時間

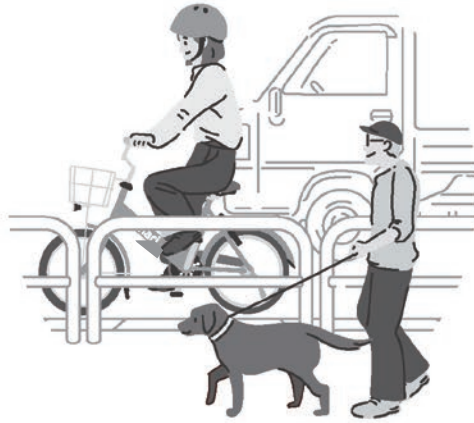
■ 点検・整備の記録

安全確保のために、必ず1年ごとにお買い上げ店舗での点検・メンテナンスをおすすめいたします。

V: 異常なし A: 調整・注油 △: 修理 ×: 交換 C: 清掃

点検項目		初回	半年	1年	2年	3年	4年	5年
フレーム フロントフォーク	変形、破損、亀裂、かたつき フロントフォークの回転具合							
ハンドル	ハンドルの高さ、固定 変形、破損							
折りたたみ ハンドルポスト	ハンドルポストの固定 固定時のガタつき、変形							
サドル	サドルの高さ、固定 がたつき、破損							
ブレーキ	レバーの引き代、ブレーキの利き ブレーキシューの摩耗 各部の固定 ワイヤーの錆び、ほつれ							
クランク	クランクの曲がり、がたつき ナットの締付、固定							
ペダル	回転具合、がたつき、折損 締付、固定軸の曲がり							
ベルトドライブ	ベルトの張り具合、破損							
車輪	ハブ	ハブナットの締付、固定 玉押しのがたつき						
	タイヤ	前後タイヤの固定 空気圧 切傷、摩耗						
	リム	固定、破損、変形						
泥除け	変形、振れ、摩耗							
リフレクター	汚れ、破損、変形							
スタンド	がたつき、変形、折損							
バッテリー	取り付け、動作							
変速機	動作							
ディスプレイ	表示 破損							
モーター	異音							
充電器	異常、コードの破損							
ネジ類	締付のゆるみ 損傷							
実施年月日								
実施者		印	印	印	印	印	印	印

1
車道が原則、左側を通行
歩道は例外、歩行者優先



5
ヘルメットを着用※



※大人もヘルメットの着用が推奨されています

2
交差点では信号と
一時停止を守って、
安全確認



5
自転車に
乗るときの
基本ルール

“自転車安全利用五則”



4
飲酒運転は禁止



3
夜間は
ライトを点灯

・道路標識や道路標示によって歩道を通行することができることとされているとき・13歳未満の子ども・70歳以上の高齢者・車道通行に支障がある
・身体障害者・車道又は交通の状況に照らし合わせ、自転車の通行の安全を確保するため、歩道を通行することがやむを得ないと認められるとき

■ アフターサービス

自転車の点検や修理、その他ご不明点は、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。

- ※ 保証期間は同梱される保証書に記載されています。
- ※ 保証期間内であっても、破損などがある場合は有償修理になりますので、ご注意ください。
- ※ 保証期間終了後は有償修理となります。お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- ※ 弊社自転車の補修用性能部品を製造打ち切り後5年間保有しています。

お買い上げいただいた販売店：

車体番号：

※※車体番号はフレーム下部(BBシェルの近く)にある10桁の数字です。

防犯登録番号：

wimo株式会社 | 東京都港区芝四丁目5 - 10 ACNビル

www.wimo.co.jp support@wimo.co.jp

受付時間：平日10:00～18:00

